

キャラクター名
千種 鋼一郎(チグサ コウイチロウ)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス ノイマン		ワークス	UGNエージェント	カヴァー	店主
オプション			年齢	32歳	性別	男
覚醒	無知	衝動	恐怖		初期侵食率	32%
出自	名家の生まれ	経験	ジャーム化の恐怖	邂逅	恩人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	1		0			1	行動値	14
感覚	2		3			5	(非装備時)	14
精神	3	1	0			4	戦闘移動	19
社会	2		0			2	全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	10		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志	2		調達		
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	2		情報:UGN→祭	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
火縄銃(ヒーローシューター)	射撃	5r+9	0	7+3		+3する際は、侵食率+1
100↓	射撃	7r+9	0	7+3		侵食率:4+1
100↑	射撃	8r+9	0	7+3+12		装甲無視。侵食率:8+1

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ハイドアウト	
ヒーローズクロス	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス:監察官	P 有為	N 恐怖		
友達:研修時代の友人	P 友情	N 悔悟		
恩人:藤崎 弦一	P 尊敬	N 恐怖		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
戦術	5	6	セットアップ	視界	シーン(選択)	自動	-	
効果: メジャー+LvD。自身非対象。								
鬼謀の策士	1	6	セットアップ	視界	シーン(選択)	自動	リミット	
効果: 視界+シーン(選択)化。1回/シナリオ								
戦局判断	3	4	セットアップ	視界	単体	自動	-	
効果: 【行動値】+(Lv*3)。自身非対象。								
コンセントレイト:ノイマン	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: CL値-Lv								
カスタマイズ	2	2	メジャー	武器	-	<射撃>	-	
効果: 判定+LvD								
クリスタライズ	3	4	メジャー	-	-	シンドローム	100%	
効果: 攻撃力+(Lv*3)装甲無視。3回/シナリオ								
ジェノサイドモード	1	3	メジャー	範囲(選択)	対決	<射撃>	-	
効果: トループのみ。命中で戦闘不能。Lv回/シナリオ								
生き字引	1	1	メジャー	至近	自身	<意志>	-	
効果: <情報:>の代わりに使用。判定+LvD								
勝利の女神	5	4	オート	視界	単体	自動	100%	
効果: 判定直後。達成値+(Lv*3)。1回/ラウンド								
ヒーローシューター	1	-	-	-	-	-	-	
効果: 武器取得								
プロファイリング	1							
効果:								
真相告白	1							
効果:								
効果:								

【支援性能】
100↓:判定+5D
100↑:判定+6D (一度だけ、さらに行動値+12) 達成値+18(ラウンド1回)
イニシアチブに、CL値-1 (シーン選択)

【出自、経験、邂逅】
江戸時代から火縄銃の製造をしているお家の長男(下に兄弟はいる)として生まれた。
一応現在でも、修理の仕事はあるため、それをしていたが、ある日突然オーヴァードとして覚醒。
→能力が高かったらしく、そのままUGNの養成施設へと移ることとなった。
そこで知り合った友人が居た。自分はヒーローなどなる気はなかったが、その人はヒーローに憧れがあり、毎日が充実した訓練生活を送っていたように見えた。
彼の補佐としてなら、と思っていたある日、ヴィラン討伐のために、と共に実地訓練のような形で出撃。が運悪く友人はジャーム化しその場で対処することに。
それがトラウマとなり塞ぎ込むも、藤崎からの一言で、UGNの監察官という就職先を提供された。(このときの功績が認められたのもある)
ジャームを目の当たりにした君だからこそ、もう誰も、ジャーム化しないように、見ていてほしい。それが、監察官である君の仕事だ。
それ以降、監察官であることの誇りを持って仕事に取り組んでいる。
現在は、家に戻り火縄銃修理のお店を出つつ、監察官として街のヒーローを監視しつつ、日々を過ごしている。

【性格】
基本は口下手。顔や体がゴツク、目だけタレ目。グラスンは友人からの貰い物のため、つけてる。が、ゴツさが増す。
本当は子どもとか大好きだが、声を掛けようとする逃げられるし、ヒーローを監察していると恐れられるので、ちょっと寂しい。
友人は気にせず話しかけてくれた唯一の人だった。弟とかはいるかも。そっちはチャライ。
今回、祭りとのことで、折角ならばと射的屋をヤル気満々。これを機会に少しでも地元の人との交流を持ちたい、と意気揚々としている。(けど、その場で恐れられていることを彼は知らない)